

# 教育学類

- 人間形成系列
- 教育計画・設計系列
- 地域・国際教育系列
- 学校教育開発系列



筑波大学

University of Tsukuba



2021  
College of Education  
School of Human Sciences,  
University of Tsukuba



筑波大学 学群入学試験に関する  
お問い合わせ先

筑波大学 教育推進部 入試課 入試第一係  
〒305-8577  
茨城県つくば市天王台1-1-1  
Tel. 029-853-6007  
Fax. 029-853-6008

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/index.html>

# 目次

ようこそ教育学類へ	2
教育学類のミッション	3
履修の進め方と授業科目	4
系列紹介Ⅰ：人間形成系列	5
系列紹介Ⅱ：教育計画・設計系列	6
系列紹介Ⅲ：地域・国際教育系列	7
系列紹介Ⅳ：学校教育開発系列	8
卒業生の言葉	9
教員紹介	10
卒業後の進路	11-12
入試の仕組み	13
教育学類へのアクセス	14



## ようこそ教育学類へ

みなさんは、筑波大学人間学群教育学類に対してどのような印象をお持ちでしょうか。本学類の特徴をキーワードであげるとすれば、「歴史性」「多様性」「学問性」「学際性」「国際性」の5点にまとめることができます。

「歴史性」とは、教育学類のもつ長い伝統を意味しています。筑波大学の前身は東京教育大学(1949-1978)であり、現在の東京キャンパスに位置していました。教育学類は、東京教育大学教育学部教育学科を引き継いでおり、さらに東京文理科大学(1929)、東京高等師範学校(1902)、東京師範学校(1872)とさかのぼれば、実に150年近い歴史を有しています。当然、この間多くの教授陣と卒業生を輩出して、日本の教育界を研究と実践の両面からリードしており、「教育の筑波」という言葉は現在でも広く伝わっています。

「多様性」とは、教育学を俯瞰的にとらえ、人間形成としての教育のあり方を追究していくことです。教育哲学、教育制度・行政、学校経営、比較国際、教育社会学、生涯学習、教育方法、教育臨床、教科教育、道徳・特別活動・キャリア教育といったさまざまな専門分野は、みなさんが想像している以上に教育学の奥深さを感じさせてくれるはず。進路についても、小・中・高等学校の教員はもとより、文部科学省や教育委員会といった公務員や、教育関係の民間企業といった多様な道に、卒業生は進んでいます。

「学問性」とは、一人ひとりが研究者としての意識をもち、関心のあるテーマを深めることを

意味します。筑波大学は大学院が充実しており、教育学学位プログラム(博士前期・後期課程)に所属する大学院生との交流も活発に行われています。教員の指導の下、文献講読や調査に取り組み、質の高い卒業研究を完成させるとともに、自らも大学院に進学して大学教員を目指す学生が多いことも特徴です。

「学際性」とは、他分野の学問や従来の枠組みに収まらないテーマを学習することで、幅広い教養と総合的な智を身に付けることを目指しています。これは筑波大学の建学の精神でもあり、学部・学科という名称を使用しない点に学際性の姿勢が表れています。人間学群においても、隣接する心理学類、障害科学類の授業を積極的に履修しながら、学生の知的欲求に応える環境を用意しています。

「国際性」とは、海外に関する経験を積みながら、国際人としての資質を高めることを意味しています。さまざまな海外留学プログラムや世界各国からの留学生との交流を通じて、グローバルな見方や考え方に触れるとともに、学習においても英語の文献を読みながら、研究動向および海外の教育や学校の現状について学ぶことが期待されます。

学習に限らず、自分のやりたいことを自らの責任において自由に実行できることが、大学の魅力です。みなさんと一緒に、教育学類で学べる日が来ることを、教員一同楽しみにしています。

教育学類長 樋口直宏

## 教育学類の2つのコースと4つの系列

教育学類では、総合的な教育学を構成するさまざまな研究領域のつながりを考えて、2つのコースと4つの系列を提案しています。

2年次になると、小学校教員免許状の取得を強く希望する学生は「初等教育学コース」に所属し、そうでない学生は「教育学コース」に所属することになります。「初等教育学コース」に所属する学生は、「学校教育開発系列」に含まれる、小学校教員免許状の取得に必要な科目の授業を集中的に学びますが、「教育学コース」に所属する学生は、「人間形成系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」「学校教育開発系列」という4つの系列の中から、特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学びます。どちらのコース・系列の場合でも、学ばれた知識・技能を活かし

て、学生は4年次に、卒業研究をまとめていくこととなります。

また、すべての学生は、4つの系列に含まれる科目を、必ずいくつかは履修しなければなりません。なぜならば、1つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるには有効であると考えているからです。

教育学類の学生には、個人の専門的な研究関心を深めることと同時に、「教育学」という学問をさまざまな観点から学ぶことが求められるのです。



# 教育学類のミッション

## 新たな学群・学類 —「人間学群・教育学類」の誕生—

筑波大学は、2007年4月に、学群・学類を新たにしました。それまで「第2学群・人間学類・教育学専攻」と呼ばれていたものが、「人間学群・教育学類」として新しく生まれ変わりました。

筑波大学は、創設以来、従来の制度にとらわれない新しい構想の下に大学づくりに取り組んできました。その象徴的な取り組みの一

つが、学部で代わる教育組織である「学群・学類」という考え方です。筑波大学では、このような特色をさらに発展させ、教育内容の一層の充実を図るために、学群と学類の再編成を図ることにしました。

### 「教育学類」の特徴

こうして生まれた新しい学群は、全部で9つになります。「教育学類」は「人間学群」の中に含まれます。人間学群は「人間の発達や

形成に関わる学問分野を対象とする学群」という使命を持って、「教育学類」「心理学類」「障害科学類」の3つの学類をつくり、学類相互の連携を大切にしています。したがって、教育学類の学生は、教育学・心理学・障害科学の3つの学問領域を学際的に学び、人間の発達や形成に関する総合的な知識・技能を習得することが期待されています。

## 達成すべき水準

### 人間に関する総合的な知と教養

複雑化・高度化する現代社会を見据えた確かな人間理解のために、教育学と心理学及び障害科学の基礎を包括した、学際的・総合的な知と教養を身に付けます。

### 教育に対する幅広い学識と体系的な見方・考え方

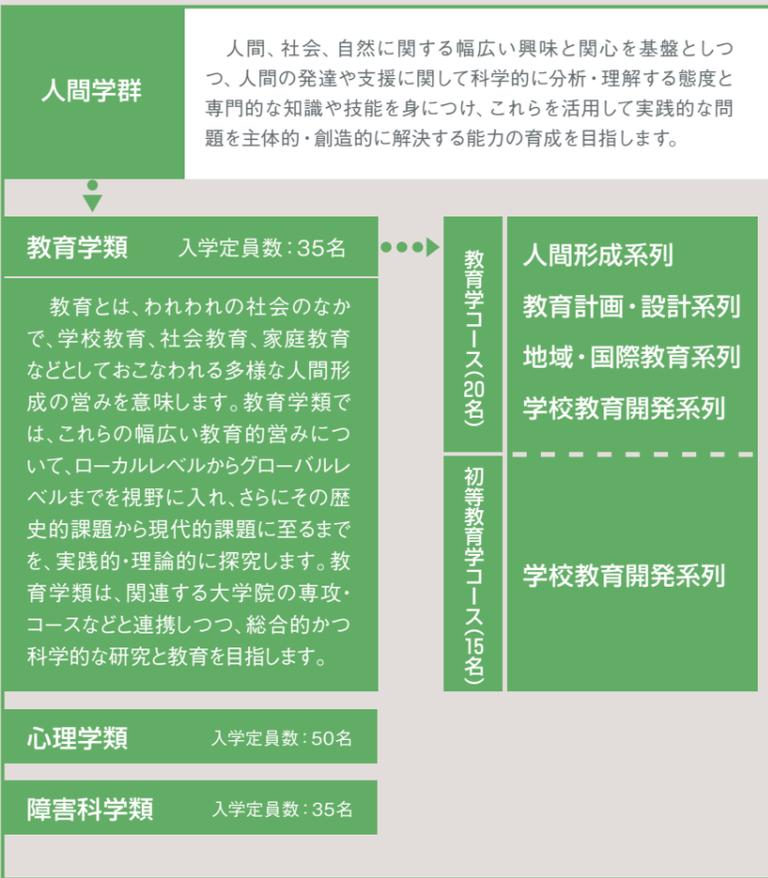
教育事象に対する鋭い問題関心と教育学全般についての幅広い学識を身に付け、教育事象についての総合的かつ体系的な見方・考え方を学びます。

### 教育専門家的資質

教育問題に対する理論的思考と現場体験との交流・融合を通して、教育学の専門知識を実践に生かし、実践を豊かに展開する能力を発展させ、学校、地域、国・自治体、企業、国際機関などの様々な「教育の現場」で必要とされる教育専門家としての資質を培います。

### 教育学の基礎的研究能力

教育に関する研究課題を設定し、史資料やデータを収集・分析しながら、説得力ある一定の結論を導く実証科学的思考力とともに、その成果を的確にプレゼンテーションする表現能力を培い、将来的に教育学研究の第一線を担う人材としての基盤を育成します。



令和元年度卒業論文優秀者と筑波大学茗溪会賞受賞者

4年次には各自が様々なテーマで卒業研究に取り組みます。仕上がった論文は厳正に審査され、優秀な論文を書いた学生は学群長表彰の対象となります。また、クラス代表などを通して学生や大学のために顕著な活動を行った学生は、筑波大学茗溪会表彰の対象となります。



教育学類新入生オリエンテーション

# 履修の進め方と授業科目

筑波大学は創設当初より、教養課程と専門課程というような区別を設けず、教養教育的な科目（「基礎科目」と専門教育的な科目（「専門基礎科目」「専門科目」）を有機的に連携させた教育課程（カリキュラム）を編成しています。

1年次の授業科目は、「基礎科目」と「専門基礎科目」が中心です。「専門基礎科目」には「教育学類共通科目」のほか、「人間学群コアカリキュラム」のような人間学群に共通する入門科目があります。1年次の履修では、教育学に加えて、心理学と障害科学という人間学群に属する他の学問分野を学ぶことができます。また、2年次になると、「教育学コース」と「初等教育学コース」に分かれて、「教育学類共通科目」と「専門科目」を履修することになります。2年次に履修する授業は、1年次に履修する授業と比べると専門性が高くなるのが特徴です。また、「教育インターンシップ実践演習」や「教育学研究法」のように、さまざまな体験を通して、教育学を実践的に学ぶことができます。そして、3年次には「専門科目」を履修することで、教育学を専門的に学ぶ機会が増大します。先に教育学類には4つの系列があることを説明しましたが、3年次には4つの系列の授業を全般的に学ぶとともに、特に関心のある一つの系列の授業を集中的に学ぶこととなります。こうして身に付けられた教育学の専門的知識が、4年次に取り組むこととなる「卒業研究」の基礎となります。

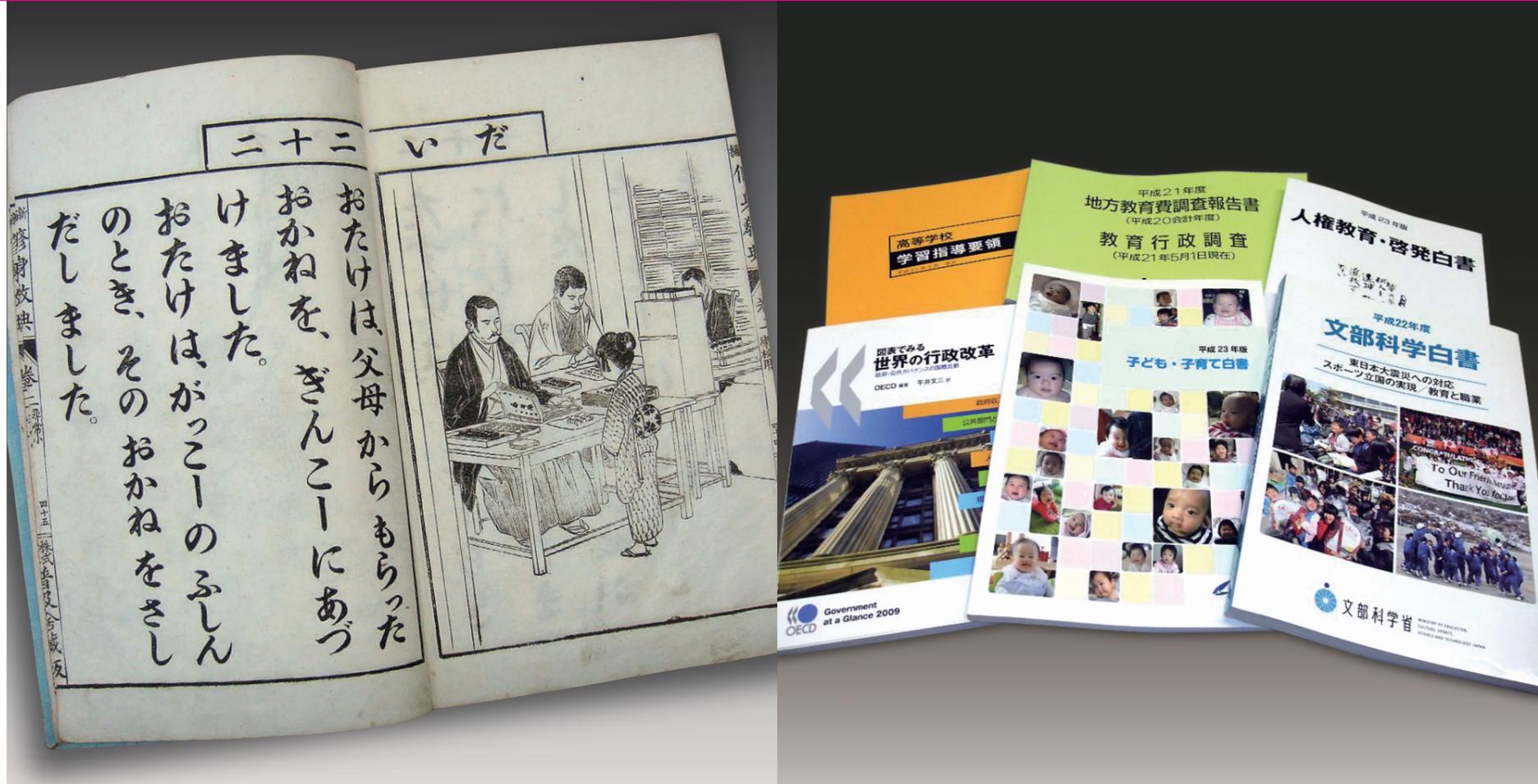
これ以外に、教職免許を取得する学生は、「教職科目」を履修することになります（ただし、小学校教員免許の取得を目指す学生は、原則として2年次に「初等教育学コース」に所属したうえで履修することになります）。教職免許に必要な「教育実習」は、筑波大学の場合、4年次に行うこととなります（小学校教員免許の場合、原則として3年次に行う）。また、社会教育主事の資格を取得する学生は、「社会教育主事科目」を2年次・3年次に集中的に履修することとなります。さらに、筑波大学には、学生が人間学群・教育学類という垣根を越え、他の学群・学類の授業を自由に履修できるという特徴があります。これが、「その他」の科目です。

大学の授業は、高校時代とは異なり、学生の主体性が基本となります。自ら学ぶことを通してのみ、学問の奥深さと面白さを学ぶことができるのです。

（今後カリキュラムが改編される可能性があります）

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目	総合科目			<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生に対し実施するフレッシュマン・セミナーおよび学問への誘い</li> <li>広く社会や世界の視座から多様な考え方、生き方に触れる学士基礎科目</li> </ul>	
	体育	体育		健康管理及び体力増進を目的とする科目	
	第1外国語 英語			外国語の実用的能力の養成を目的とする科目	
	第2外国語 初修外国語			外国語の入門的・基礎的な学習を目的とする科目	
	情報			情報科学に関する基礎的な能力の養成を目的とする科目	
人間学群	人間学			「人間とは」を多面的に学ぶ科目	
	教育基礎論			教育学の入門科目	
	学校の経営・制度・社会				
	心理学概論			心理学の入門科目	
専門基礎科目	障害科学Ⅰ又はⅡ			障害科学の入門科目	
	キャリアデザイン 入門			卒業後の進路(就職)を考えることを目的とする科目	
	教育インターンシップ 基礎論			教育現場における実践的な活動を行うための準備科目	
	教育インターンシップ 実践演習			教育現場における実践的な活動を行う科目	
	教育学研究法A			教育学・教科教育学の基礎的領域における文献研究を行う科目	
	教育学研究法B			教育事象を調査によって実証的に研究するための知識・技能を習得する科目	
	教育学実践演習			卒業研究につながる科目	
	卒業研究			4年間の学習の成果を卒業論文にまとめる科目	
	専門科目	●教育学コース			4つの系列の授業を全般的に履修するとともに、特に関心のある系列の授業を集中的に履修する
		〈人間形成系列〉	概論・演習・実践演習		
〈教育計画・設計系列〉		概論・演習・実践演習			
〈地域・国際教育系列〉		概論・演習・実践演習			
〈学校教育開発系列〉		概論・演習・実践演習			
教職科目			教育実習を含む	教育実習を含む	教員資格を得る上で履修を定められた科目
	社会教育主事科目				社会教育主事資格を得る上で履修を定められた科目
その他					教育学類の履修に関連して周辺領域から履修できる科目および幅広い教養を身に付けるために履修できる他学群・他学類の科目

# 教育計画設計系列



明治期の教科書「新編修身教典 尋常小学校用」1900年(日本教育史調査室蔵)

教育政策に関する報告書類

人間形成系列において、学生は教育に関する基礎を学ぶことができます。その中には、教育哲学・日本教育史・外国教育史・道徳教育・キャリア教育学という分野があります。

現在、この系列の授業のなかには、主に、世界や日本の歴史をさかのぼって、学校というものがどのように成立・展開してきたのかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた偉大な人物の足跡・思想をとらえなおしたりする授業が開講されています。より具体的に言うと、前近代を中心とする日本教育史の全体像、近代を中心とする日本教育史の歴史像、クラス・カリキュラム・一斉教授の思想と歴史、シュタイナー教育の人間形成、諸外国の道徳教育の諸相、古代ギリシャの哲学やソクラテスの教育思想、などを内容として取りあげています。このような内容を学ぶことで、教育学の基礎的知識が習得されるのです。

この系列のなかで卒業研究をまとめることになれば、教育の本質や原理を考える基礎的教養が身につくために、学界や教育界などの多様な分野への進路選択が期待されます。

系列紹介Ⅰ

# 人間形成系列

在校生からのメッセージ

出原 幹大

皆さんは、教育っていったい何なのだろう、などと考えたことはありませんか。他にも、こんなこと置って何の役に立つのだろう、何のために学校に行くのだろう、日本の教育はこれからどうなっていくのだろう……。ふと、そのようなことを疑問に感じたこともあるでしょう。学校教育を受けてきた私たちにとって、教育学は非常に身近な学問だと言えます。ここ教育学類は、人間形成の意図的・計画的営みとしての教育学について、教員養成のみならず、学校・社会・文化・行政・国際・情報等様々な視点から踏み込むことが出来る学類です。そして人間形成系列では、教育哲学や教育史、道徳教育、キャリア教育学といった分野から、全ての教育学の基礎となる思想や理論、知識を人文学的に学ぶことが出来ます。つまり、教育の本質をとらえ、皆さんが疑問に感じてきたようなことを探究したり、また新たな問いを見出したりと、教育について学び始めるのに不可欠な足場を提供してくれる領域といえます。教育現場では、正確な「答え」に最短距離で辿りつくことが求められます。しかし、ここでは各々の問題関心の基底にある「問い」を探り、時間をかけて、時に回り道もしながらじっくり思考することで、その原理に迫り、徹底的に探究していきます。皆さんも、身近に感じてきた「問い」をスタート地点に、さらなるアカデミックな教育学の世界に飛び込んでみませんか。



卒業研究の例

- 初期コルバク道徳教育論に関する一考察  
—インドクトリネーション批判に焦点を当てて—
- ヘルバルトのペーゲル「エンチュクロペディー」の批評について
- プラトン『国家』における音楽と体育における幼少期の教育論
- パウハウスの再評価に向けて  
—1900年前後の芸術運動の分析を中心として—
- Death Educationの必要性と可能性  
—子どもにいのちを教える意義—
- 「書く」ことの教育史的考察  
—知のあり方との関わりにおいて—
- 「大東亜共栄圏」をめぐる英語教育の戦時編制  
—南方占領地フィリピンにおける日本語教育との関係に着目して—
- 1970年代のアメリカ合衆国におけるキャリア教育の再評価  
—学校を基盤とする総合的キャリア教育モデルの実践方策に焦点をあてて—
- 普通科高校におけるキャリア教育の中核的な時間の運用方策に関する研究  
—インターンシップ等の体験的な活動との関連に着目して—
- 「東北」と「方言」をめぐる教育史的展開  
—1900年代から1950年代における教師の実践と動向に着目して—

開設授業科目の例(令和元年度の場合)

- 〈講義科目〉  
教育哲学：教育とは何であるか、人間にとっての意味、教育の目的、方法、可能性について論じる。  
日本教育史：時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、専門的な論文や資料を用いて検討・考察する。  
アジア教育史：文献の講読を通して、アジア教育史に関する基礎的な研究成果を学ぶ。  
〈演習・実践演習科目〉  
道徳教育論演習：現在の日本の教育現場で知られている道徳教育の諸理論を取りあげ、その特徴を問題点について具体的に検討し、討議する。  
外国教育史演習：西洋教育史および教育思想史に関する古典および研究書(論文)の読解を中心に授業を進め、相互討議のなかで問題意識と歴史認識を深めていく。

卒業研究の例

- 総合大学における教職志望学生の進路選択のプロセスに関する研究  
—3・4年次生と大学院生のインタビューを通して—
- 自律的学校経営の時代における教育委員会の学校支援の現状に関する研究  
—市町村教育委員会と学校とのコミュニケーションに着目して—
- 中学校における保護者及び地域住民との連携の意義に関する研究  
—新設された地域運営学校の事例分析を中心として—
- 学校建築の変容と授業改善の関係性についての一考察  
—教科教室型校舎の中学校の事例分析を中心として—
- 「小1プロブレム」の解決方法に関する研究  
—新聞記事の分析を通して—
- 女性教師が校長になりゆくプロセスにみる「転換」に関する研究  
—小学校女性校長のライフヒストリーの分析を通して—
- アメリカのフリースクール運動におけるデモクラシーの展開
- 山形県の少人数教育施策における教師の意識変化に関する研究  
—授業改善に対する意識に注目して—
- 日の丸・君が代問題における政策変容に関する一考察  
—東京都を事例として—
- 現職教員の大学院での学びに関する一考察  
—「実践的指導力」と「省察」の関係構造に着目して—

開設授業科目の例(令和元年度の場合)

- 〈講義科目〉  
教育制度論：今日、さまざまな教育改革が行われているが、ではどのような学校教育が望ましいのか。本講義では、「学校教育制度をつくってみる」という観点から、学校教育を構成する主要な制度的要素を取り上げ、現行制度の根拠とその改革の可能性を検討する。  
教育法論：学校教育と教育行政に関わる法規の概要と改正動向を明らかにし、学校や教育行政にどのような対応が求められているのか。どのように学校教育の改革が進められようとしているのかを把握する。  
比較学校経営論：日本、イギリス、オーストラリア等の学校経営の政策と実践について検討し、今後の学校経営改革の在り方を考える。学校経営の比較を行い、学校経営に関する国際的視野を育成する。
- 〈演習・実践演習科目〉  
学校経営論演習：学校をよりよくしていくとはどういうことか?よりよい学校を創造するうえで「組織」「経営」という概念で括られる諸条件はどのような機能や意味をもつのか?そしてどのようにあるべきであり、実際にはどのようにありうるのか?—これらの問いを中心に据えて、文献読解、受講者自身の調査と発表、討議、そして学校訪問調査などを織り交ぜながら進めていく。

在校生からのメッセージ

稲葉 彩月

教育計画・設計系列で学ぶことの面白さは何かと聞かれたら、私は「人生の伏線回収をしている気分になれること」と答えるでしょう。なぜならば、この系列では今まで自分が受けてきた、そして自分が受けている教育の背景や目的、意図を深く理解することができるからです。例えば、なぜ義務教育が行われているのだろうかということについて。教育基本法5条の中では、義務教育が「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われる」と述べられています。つまり私が、

そして国民が受ける義務教育はこのような資質を持つ国民を育成するためといえます。他にも学校教育法や、学習指導要領といった様々な法律、そして教育課程の基準によって、学校教育は支えられ、その目的が定められています。教育の制度を知ること、自分たちの受けている教育の意味を知ることに関心があります。では、実際にこうして定められた法律や基準、そして学校の在り方が、本当に今必要な教育にふさわしい形になっているのでしょうか。これから生きていく子どもたちがどのような力を身につけていくべきかを考えながら、社会情勢や、諸外国との比較などを通じて様々な視点から追求していくことも、この系列で学ぶ醍醐味

の一つだと思います。みなさんもぜひ、この系列での学びを楽しんでください。



# 地域・国際教育系列

**教育**とは、学校、地域社会、家庭など、さまざまな「場」でおこなわれている多様な人間形成の営みであるといえます。本系列では、こうした教育的営みを社会・文化とのかかわりでローカルレベルからグローバルレベルまでも視野に入れて実践的・理論的に探究する授業科目で構成されており、多様なレベルにおける教育・学習活動について幅広く理解する視点を持つという点に特徴があります。

本系列の授業科目を通じて、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援をおこなう地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道を目指してほしいと考えます。



フィールドワーク報告会の様子



教育実習生による授業風景(筑波大学附属小学校)

**学**校教育開発系列のポリシーは、「進化する学校教育のエキスパートを育成する」ことにあります。学校は日々、児童・生徒が学習する場です。児童・生徒の成長とともに教師の関わり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そんな学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適応し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところでは。

机の上で学校教育に関する理論を学ぶことだけが重要なわけではありません。実際に学校に飛び込み、自らの目で学校教育の様々な課題を見出す。その中から自分の研究テーマを設定し、授業で学んだ理論を基盤としながら、自分の観点でそのテーマを追究していく。そうすることが、学校教育の理解をさらに深め、よりよい学校教育を構築していくことにつながっていくとわれわれは考えています。特に初等教育学コースでは、附属小学校との連携のもと、現場に根差した実践力、研究力の育成を図ります。

さあ、あなたも学校教育開発系列で、世界を担う学校教育を極めてみましょう!

# 学校教育開発系列

系列紹介Ⅳ

## 卒業研究の例

- 教育開発援助における初等教育普遍化政策への批判的検討  
—サブ・サハラ・アフリカに焦点をあてて—
- 大学生活と「主体性」の関係性に関する研究
- 地域活動における子ども・若者の参画と学びのプロセス
- 企業による出張授業の経営的・教育的意図と課題  
—銀行による金融教育を事例に—
- 現代中学生の友人関係における社会的相互行為の実態について  
—「キャラ」という自己表示に着目して—
- グリーン・ツーリズムにおける食農教育の可能性に関する研究  
—農村住民の教育的意図の伝達に着目して—
- 農村における「地域コミュニティ」の形成  
—学習活動を通じた連帯意識の醸成に着目して—
- 育児ネットワークとしてのインターネット利用  
—オンラインネットワークによる母親の仲間作りの可能性—
- 利用者の視点から見た利用しやすい公民館に関する研究  
—施設面に着目して—
- まちづくりをになう住民の学びに関する研究  
—桜川市真壁における町並み保存のプロセスを通して—

## 開設授業科目の例(令和元年度の場合)

- 〈講義科目〉**  
比較教育文化論：途上国・中進国の教育を中心にみる。現在の学校教育に影響する要因について学ぶ。  
教育社会学Ⅰ：教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。本講では、前半の教育社会学基礎論ではなく「個人と社会の関係」について、後半「現代社会における人間形成」では、変動する社会のなかで人間形成の役割を担う教育のあり方について検討する。「教育」を通じて社会が個人を規定すると同時に、個人が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。
- 〈演習・実践演習科目〉**  
生涯学習論演習Ⅱ：現代におけるノン・フォーマルな人間の学びについて、各種の文献講読と討議を通じて考察する。  
教育社会学探究Ⅰ：文献を購読し、討議・検討することで、社会的な探究を必要とする問題に着目する。次いで、問題のテーマ化を図りながら探究の視点を定めることにより、探究すべき課題を導出する。さらに、課題解明のための方法を学習し、調査を企画設計する。質問紙やインタビュー・ガイドの作成を試みると同時に、調査の実施、データの分析、結果の報告について学習する。

## 在校生からのメッセージ

### 横山 智之

みなさん、「教育」と聞くと「学校」を真っ先に思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。小学校、中学校、高校と学校生活を過ごし、現在大学入学を目指しているみなさんは、「学校」がなじみの深いものだと思います。しかし、視野を広げてみると、生まれてからの家庭があり、地域、職場、はたまた海外の教育と、私たちの周りには大小あらゆる社会があり、そのすべてで「教育」という営みが行われ、日々過ごしていることに気づくと思います。人生100年時代の中、人々はあらゆる形で学び続ける社会が来ています。私も学校教育に興味を持ち入学しましたが、あらゆる社会の学びに惹きつけられ、今では若者の居場所や人のつながりをテーマに研究に動んでいます。

地域・国際教育系列では、地域社会での学びである生涯学習・社会教育の分野と海外の教育を学ぶ比較・国際教育の分野の2つを大きな柱として学ぶ系列です。この系列の特徴は、座学での理論はもちろんのこと、実際のフィールドに出て課題を見出し、実践していく場の両方が豊富に備わっていることです。理論とあらゆる社会での教育実践を繰り返し積み重ねていくことで、当たり前だと思っていたみなさんの「教育」を捉える視点が更新され、きっと新たな世界が見えてくることでしょう。みなさんも一緒に、様々な社会での教育実践を感じることで、自分が経験してきた教育を問い直してみませんか。

## 卒業研究の例

- コミュニケーションツールとしてのノート  
—中学校運動部活動におけるノート活用方法—
- シェイクスピアの人間観—道化に着目して—
- 馬の調教と「馬のウェルフェア」から観る人間の教育  
—信頼関係の構築における類似性を手がかりに—
- 小学校の特別支援教育支援員の役割について  
—茨城県における実態調査を通して—
- 進学高校におけるインターンシップ導入の課題と可能性  
—富山県T高校を事例にして—
- 自己への攻撃性に対するソーシャルサポートの検討  
—自己志向性完全主義の不適応的側面に着目して—
- 不登校への支援におけるスクールソーシャルワーカーの保護者への関わり
- 高校生物教育におけるストーリー性活用に関する研究  
—「免疫」単元を事例として—
- 発達障害傾向のある大学生におけるピア・サポートの効果の検討
- アクティブ・ラーニングを効果的に導入するための組織づくり  
—中等教育学校を事例に—

## 開設授業科目の例(令和元年度の場合)

- 〈講義科目〉**  
数学教育論：数学教育の新教育課程の目標と内容、数学の教授・学習、学力評価、教材開発等について、最新の話題を取り入れながら多面的に検討する  
初等教科教育法(国語)：小学校教員として、国語の授業を行ううえで必要な知識、技能を身に付けることを目的とする。具体的な教材をもとに、講義、演習を行うことができるようにする。
- 〈演習・実践演習科目〉**  
カリキュラム開発演習：教育課程編成とカリキュラム開発との異同を前提に、近年のカリキュラム開発を扱った資料を精読する。  
教育臨床学演習：現代の児童・生徒の問題、あるいは学校、教師、保護者、教育環境や地域社会の問題の理解、究明、援助について演習と実習を通して学ぶ。そのためのテーマに関連する学術論文を受講生がレポートとし、集団討議する。また援助の技法を学ぶ。  
学習指導論演習：学習指導および教育方法の諸問題について、基本文献を講読する。またVTR視聴や学校見学を通して、授業の実践についても学び、受講生の問題関心を深める。

## 在校生からのメッセージ

### 貴志 光加里

「教育」という言葉聞いたとき、皆さんが真っ先に思い浮かべるのは「学校」ではないでしょうか。また同時に、そこには「学校の先生」という存在も浮かび上がってくると思います。ところで、学校の先生の仕事は何でしょうか。なぜ、学校で学ぶのでしょうか。そのような「学校における教育」とは何かについて、理論と実践の両面から学びを深めるのが、学校教育開発系列です。  
学校教育開発系列では、学校における教育という観点から、各教科の教育目的や内容、指導法などの学習指導のみならず、学校における子どもたちを取り巻く、いじめや不登校などの問題に取り組む生徒指導などを学びます。また本系列の初等教育学コースでは附属小学校の先生方から教科指導法を学び、その後の教育実習でも指導をして頂きます。小学校教育の分野をリードされている先生方から、直接教えていただける機会を得られることは、筑波ならではの恵まれた環境だと言えます。私は本系列の授業を通して、子どもたちの良さを最大限引き出し、生涯学習の基盤となる学びの育成に貢献することができると感じています。また教員の役割の意義を改めて実感しています。  
未来の社会を担う子どもたちに対する教育について、子どもたちが多くの時間を過ごす学校について、また、教育者としての教師について、学校教育開発系列とともに考えてみませんか。皆さんと学ぶことを楽しみにしています。

# 後輩達へ 卒業生の言葉

## 井口 謙 [RKB毎日放送]

●平成29年度卒業



平成29年度に教育学類を卒業し、現在は福岡県の放送局でアナウンサーとして働いています。「教育学」と「マスコミ」、一見すると全く違う分野のように感じられるかもしれませんが、しかし、大学時代に学んだことは今の私の仕事を大きく支えてくれています。

アナウンサーとして「伝える力」はもちろん、「聞く力」も求められるのです

が、それは教育現場でも同じことだと思います。教育臨床学を専攻する中で様々な人にインタビューをしたこと、教育実習での授業の経験、また所属していた陸上競技部での活動、大学時代の時間のすべてが今の仕事に繋がっていると感じています。

筑波の教育学類は非常に選択肢が豊富だと感じます。教育学類所属というと、「先生になるの?」とよく言われましたし、自分自身も教師を目指して進学する際、教育学は閉鎖的だというイメージを持っていました。しかし実際は、分野はとて多く扱う範囲も様々で、それぞれの分野のエキスパートである先生方のご指導を受けることができますし、卒業生の進路も千差万別です。そして何より、教育学類での学びはその後の進路にかかわらず大きな自らの財産になります。

楽しい大学生活を送りながら、様々なことに挑戦してみてください!

## 米本 央 [法務省]

●平成29年度卒業



私は法務省矯正局に入省し、現在は法務教官として勤務しています。法務教官とは、非行をして少年院などに収容されている少年の更生と再犯の防止を目標に教育をする仕事です。

子どもの頃から、なぜ学校に通わなければならないのか不思議に思っており教育学類に入学しました。しかし、教育学を学ぶなかで、家庭の環境や経済的状況

に関係なく、全ての人がある一定の水準を持った教育を受けることができるためにはどうすればいいのかへと関心が移りました。義務教育制度では、ある一定の年齢に達した子どもは皆学校に通い、義務教育修了程度の能力が身につくことになっているけれど、不登校や病気で入院している子は学校に通えていないし、学校に通っていても授業についていけなければ義務教育修了程度の能力を身につけるのは難しいということに認識しました。学類での学びを通し、制度と実態の差を問題として捉えた時、制度の枠を外れてしまう子がおり、その少数の子について考えていきたいと思いますようになったことが、現在の仕事につながっています。

筑波では、教育学の様々な分野があり多角的に学ぶことができます。たくさんの方の分野に触れ、それまでの自分にはなかった見方をどんどん吸収していってください。

## 榎 紗也加 [リクルート]

●平成30年度卒業



平成30年度に教育学類を卒業し、現在はリクルートという企業で働いています。仕事内容は多岐に渡りますが、「新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現を目指す」ことを理念に掲げている企業です。「教育を学んだのに、民間企業で働いているの?」と思った方もいるかもしれませんが、教育学類で学んだ

ことは今の私に大きな影響を与えてくれています。

私は「自分らしい生き方とは何だろう?」という漠然とした疑問を持ちながら教育学類に入学しました。テストで良い点を取るための教育ではなく、子どもたちが本当の「自分らしさ」を見つけられるような学校教育制度を作りたいと思っていたからです。入学後、様々な分野のエキスパートの先生方と出会い、あらゆる知見に触れ、「教育=学校」であるという考え方が一変しました。教育とは、人生そのものに密接に関わるものであり、学校の中だけで完結するものではないと気づくことができたのです。私が今の進路を選んだのは、その気づきがあったからだと思っています。

筑波には、あらゆる角度から学びを深められる環境があります。皆さんの大学生活が多くの出会いと気づきに溢れるものでありますように。応援しています!

## 長瀬 利勝 [北海道公立高校]

●平成30年度卒業



私は現在、稚内で教員をしています。5月下旬に桜がやっと咲き、6月でも最高気温が20度前後の海と風の町で、授業と部活をメインに、高校生たちと楽しく毎日を過ごしています。

わたしははっきりとしたきっかけもなく、いつの間にか将来の夢が教員になりました。ただ、筑波大学という目標ができた理由は明確で、中学校の時

の担任の先生に「教育を学ばなれば筑波だ」と言われたからです。しかしその時は、筑波大学の教育学が深い歴史を持つことはもちろん、つくばがどこなのかわかりませんでした。

教員となった今やっと、筑波大学で教育学を学ぶ強みを1つ挙げられそうです。それは、教育に対する視点を幅広く身につけられることです。筑波大学には、教育学のあらゆる分野のエキスパートがいらっしゃいます。したがって、同じ教育に関する問題に対して、異なる視点やアプローチが存在します。学類の4年間ではこの視点の多さに驚き、「こういう見方があるのか」という発見をたくさんしました。今教員として教育の現実的な問題にぶつかったとき、経験値の少ない新米を助けてくれるのは、視点やアプローチの多さだと実感しています。

氏名	研究テーマ
教育哲学 平井 悠介	現代英米圏の教育哲学、教育における平等論とシティズンシップ教育論
日本教育史 平田 論治	近代日本教育国際関係史
道徳教育 田中 マリア	道徳教育、ルソーの教育思想に関する研究
キャリア教育学 藤田 見之	キャリア教育論(日・米・デンマーク比較研究)、教師教育制度論
特別活動学 京免 徹雄	教科外活動の国際比較、開発的生徒指導論、フランスの進路指導
教育制度学 藤井 穂高	教育改革、フランスの教育制度、幼児教育
比較・国際教育学 タスタンベコワ クアニシ	言語教育政策、旧ソ連(CIS)諸国・中央アジア諸国の教育政策、ユネスコの教育政策
学校経営学 佐藤 博志 浜田 博文	学校経営論、オーストラリアの教育改革 学校改善論、アメリカの学校経営政策論、教師教育論
生涯学習・社会教育学 上田 孝典	日中の社会教育・生涯学習実践研究、近代中国の社会教育史研究
学習指導学 樋口 直宏	教育方法学、授業研究、批判的思考論、小中一貫教育
教育社会学 徳永 智子	日本における移民と教育、マイノリティの教育支援、エスノグラフィー
教育臨床学・生活指導学 庄司 一子	児童生徒の抱える問題、仲間関係、教師との関係、教師と生徒のメンタルヘルス
人文学科教育学 長田 友紀 甲斐 雄一郎 名畑目 真吾	国語教育、コミュニケーション教育、音声言語教育の研究 国語教育史、言語表現論 英語教育、英文読解プロセス、小学校英語
社会科教育学 井田 仁康 唐木 清志 國分 麻里	社会科・地理教育の理論的・実践的研究 社会科教育学、アメリカ公民教育論 社会科・歴史教育の理論的・実践的研究、韓国の社会科教育研究
理科教育学 遠藤 優介 山本 容子	理科教育目的論、ドイツ科学教育論 理科教育、生物教育、環境教育論
数学教育学 磯田 正美 清水 美憲 蒔苗 直道	算数・数学の学習指導法の研究、数学教育の国際共同研究 数学的思考の認知的研究、数学教育の国際比較 数学教育史

# 教員紹介

# 卒業後の進路



## 大学院進学者からのメッセージ

### 香川 圭

教育学学位プログラム  
教育基礎科学サブプログラム



私は筑波大学の人間総合科学研究科（教育学）に進学し、現在は大学院生として教育哲学領域の研究を進めています。教育哲学とは、字義どおり、社会のなかで起きている教育現象あるいは教育的現実についての哲学的考察を主立った特徴とする学問です。このように堅苦しく書く「なにか難しいことをしているな」と感じるとも思います。しかし、たとえば「学校ってなんで行かなきゃいけないのだろう」「ニュースで見たけど、あの教育って本当に良いことなの？」のような、誰もが一度は抱えたことのある、そうした疑問のなかに教育哲学的な営みが潜んでいるのだと思います。そして、そのような視点を教えてくれたのが教育学類での学びでした。

赤裸々に言ってしまうと、私の教育学類への志望動機には強い熱意はなく、なんとなく入学しました。「教育なんてあって当然のものだ」「いまさら何を研究しろ」とくらの思考さえ心の片隅に秘めているほどでした。しかし、教育学の多彩な分野に精通している先生方に出会い、むしろ自明視されてきた教育システムだからこそ、それを問なおすことに研究の可能性が広がっていることを学びました。教育の“当たり前”を疑う。これは勇気がいることです。しかし同時にワクワクもしませんか？

教育学類での学びは常に「再発見」の連続です。皆さんもぜひ楽しいキャンパスライフと一緒に、色々な「再発見」を実感してみてください！

### 村田 翔吾

人間総合科学研究科  
学校教育学専攻



私の専門領域は数学教育学です。学類2年生の授業において「分数のわり算は、なぜひっくり返してかけるのか。」という質問に答えられなかったことをきっかけに、研究を始めました。当時、「数学を教えることに関する研究領域があるんだ」と感銘を受けたことは、今でも覚えています。教育学類には、教育に関わる多様な研究領域があるため、自分の専門領域を深めると同時に、多様な視点から自分の領域を見ることが出来ます。教育学類の4年間で、各領域の第一線で活躍されている先生方から御指導を頂いたり、興味関心の異なる仲間たちと議論したりしたことは、大学院に進学した現在でも貴重な経験です。ぜひ教育学類へ入学して、教育について考えてみませんか。

### 長 創一朗

人間総合科学研究科  
ヒューマンケア科学専攻



高校生の頃に読んだ漫画の「100年先の未来を変えるのは教育だ!」というセリフが頭から離れず、教育について学びたいと思い、筑波大学に入学しました。大学では、先生方や友人たちと議論を重ねる中で、教育について自身の数少ない経験から「正しい」と思っていたことが覆される場面が多々ありました。無批判的に「教育＝良いもの」とするのではなく、状況によっては人々に悪影響を与えうるものとして教育の営みを捉えることができるようになったことが、自分が教育学類で学んだ一番の収穫だったと思います。このような教育学類での学びは、教育を研究する人はもちろん、教員や企業に就職する人にとっても非常に意義のあることだと思います。

### 細野 裕暉

教育研究科  
スクールリーダーシップ開発専攻



中学生の頃から学校の先生になることが夢で、「大学卒業後すぐに高校の先生になるんだろうな」と高校生の頃は漠然と考えていました。そのときは大学院への進学など頭の片隅にもありませんでした。しかし、教育学類で様々な角度から教育学を学んでいくうちに、教員として働く前に、もっと教育に関する専門的な知識を身につける必要があるのではないかと思うようになり、修士課程の教育研究科への進学を決めました。教員養成系の大学ではなく、教育学類に入学したからこそ、このような進路を考えるようになりました。教育をめぐる諸問題や取り巻く状況を多角的・批判的に捉える態度が養われるのが、教育学類の魅力だと思います。

## 卒業生の進路

教育学類は2011年3月に第一期の卒業生を送り出しました。前身である人間学類教育学専攻と同じく、社会の様々な分野に進んでいます。

下のグラフは、人間学類教育学専攻と教育学類の過去5年間の卒業生の進路先を示したものです。「就職」は、「企業・団体」「教員」「公務員」の3つに分けて示してあります。

このグラフからわかることは、大まかな傾向として、「就職」が50%程度、「進学」が30%程度、そして、「その他」が20%程度ということです。「その他」に含まれている学生の多くは、就職や進学の準備をする人たちですが、これらの人たちも次年度あるいは数年の内に、就職あるいは進学を決め、希望する進路先へと進んでいます。

最近の傾向としては、「教員」の中でも小学校教員になる人が増えていることです。また大学院の修士課程へ進学した後で、教員となっていく人も多くなっています。

## 大学院進学

大学院進学者の多くは、同じ筑波大学の教育学学位プログラムに進学しています。教育学学位プログラムの前期課程（令和2年度より改組）は、教育基礎科学サブプログラム・次世代学校教育創成サブプログラム・国際教育サブプログラムの3コースに分かれており、修了後は小中高の教員や後期課程に進学して研究者を目指して

いきます。その他にも、筑波大学にある他の学位プログラムや他大学の大学院に進学する人もいます。

## 大学卒業後の主な就職先

### 〈企業・団体〉

みずほ銀行／JR東日本／日本生命  
三井住友銀行／三菱東京UFJ銀行  
九州電力／商工中金／静岡銀行／山ニガス  
みずほフィナンシャルグループ  
しまむらグループ／三井物産  
第一ゼミナール／湘南ゼミナール  
四国電力／共同通信社  
茨城新聞社／常陽銀行／住友不動産  
くまざわ書店／明治図書／全日空  
秀英予備校／ベネッセコーポレーション  
早川書房

### 〈教員〉

長崎県／大阪府／鹿児島県／滋賀県  
山梨県／神奈川県／千葉県／茨城県  
埼玉県／東京都／石川県／福岡県  
愛知県／兵庫県／広島県／横浜市 ほか

### 〈公務員〉

北海道庁／福島県庁／愛知県庁／千葉県庁  
つくば市役所／法務省／文部科学省  
警視庁／茨城県警察本部  
港区役所／水戸市役所／茨城県庁 ほか

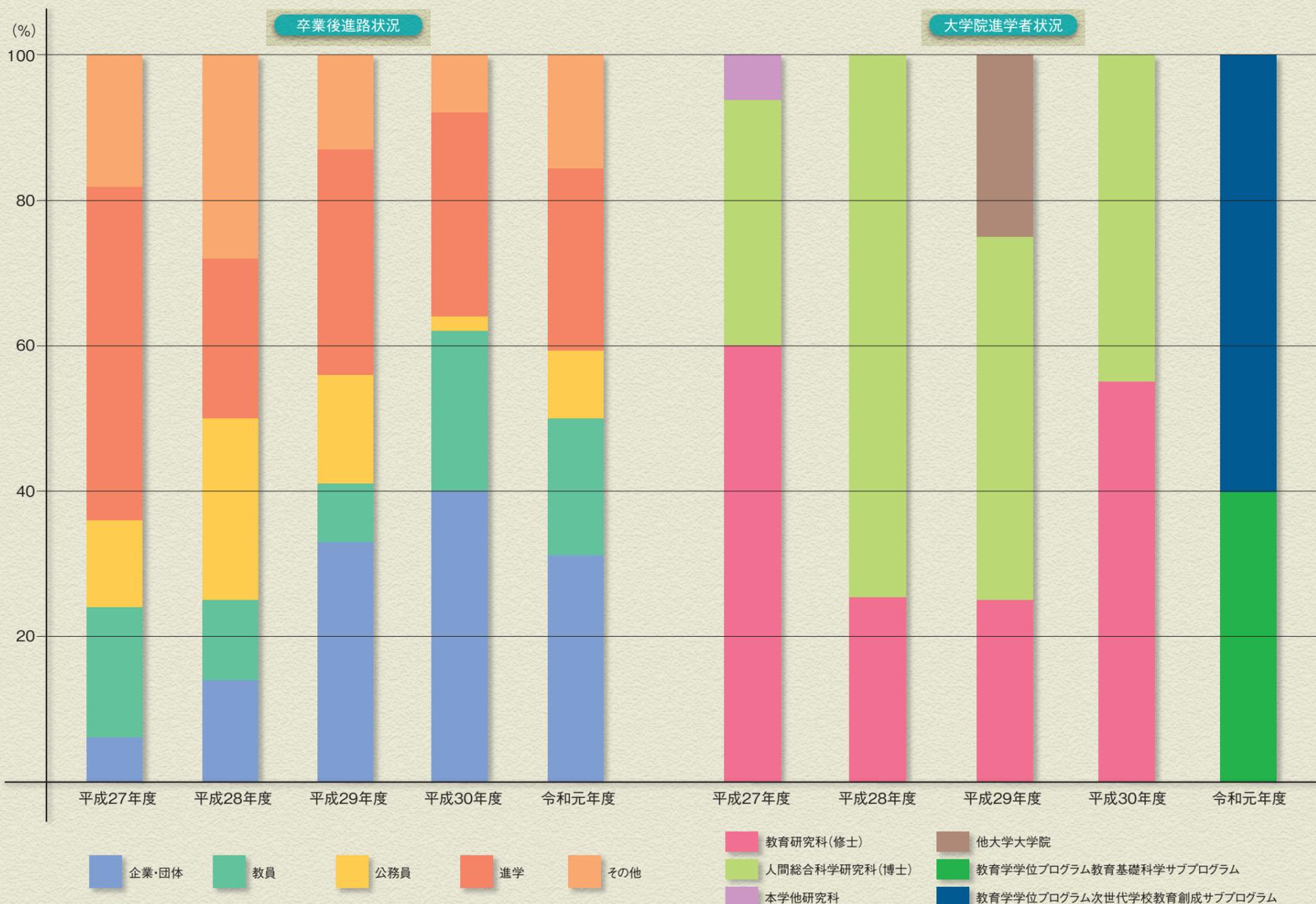
## 大学院修士課程修了後の主な就職先

### 〈教員〉

兵庫県／東京都／栃木県／青森県  
香川県／静岡県／茨城県／埼玉県 ほか

### 〈公務員〉

横浜市役所／文部科学省 ほか



# 入試の仕組み

## 入試の仕組み

教育学類の入学定員は35名です。

入学試験には、「一般入試」「特別入試(推薦入試、国際バカロレア特別入試、私費外国人留学生入試)」の2種類があります。教育学類では個性的で意欲的な学生を求めています。

大学4年間は長いようで、実際にはとても短い4年間です。この4年間で有効に活用してもらうために、教育学類の教員は最大限の支援を惜しみません。しかし、教員がいくら頑張ってみても、当の学生に「やる気」がなければ、その指導・支援も中途半端なもので終わってしまうでしょう。やはり大切なのは、学生自身の「心構え」なのです。このパンフレットのあちこちで、みなさんにエールを送っている在校生・大学院生・卒業生はみな、しっかりと将来を見据え、日々努力している方々です。それは、彼/彼女たちの言葉からもわかります。みなさんも是非先輩のように高い志と大きな希望を持ち、教育学類に入学してきてください。そのような意欲があれば、自ずと、未来への道は開かれるものと思われま。

来年度の4月に、みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

## 令和2年度入試

### 1. 一般入試

募集人員 前期日程(学類選抜) 22名 後期日程 3名  
【\*総合選抜入学者の2年次の受入定員は3名となっています】

試験時期 大学入試センター試験…1月中旬  
個別学力試験…2月下旬(前期日程) / 3月中旬(後期日程)

▽個別学力検査の試験科目 前期日程

- ・外国語(英、独、仏、中から1つを事前選択)
- ・国語(現代文B・古典B)
- ・地理歴史(世界史B、日本史B、地理Bから1科目)
- ・公民(倫理)
- ・数学(数I・数II・数III・数A・数B)
- ・理科(物基・物、化基・化、生基・生、地基・地から1科目)
- ・集団面接(応答性、論理性、協同性等を評価する)

の中から1教科を事前選択

▽後期日程

- ・集団面接(応答性、論理性、協同性等を評価する)

### 2. 特別入試

#### ① 推薦入試

募集人員 7名  
試験時期 11月下旬  
試験科目 小論文、面接

#### ② 国際バカロレア特別入試

募集人員 若干名  
試験時期 9月～10月  
試験科目 書類選考、面接

#### ③ 私費外国人留学生入試

募集人員 若干名  
試験時期 2月下旬  
試験科目 小論文、面接

※入試に関する詳しい情報は、筑波大学公式ホームページ(<http://www.tsukuba.ac.jp/>)の【入試情報】をご覧ください。



緊張した新入生



合格発表



入学式



教育実習

# 教育学類へのアクセス



## インターネットでのアクセス

インターネットで教育学類にアクセスしてみてください。  
より詳しく、教育学類のことがわかるはずですよ。

<http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/college/>

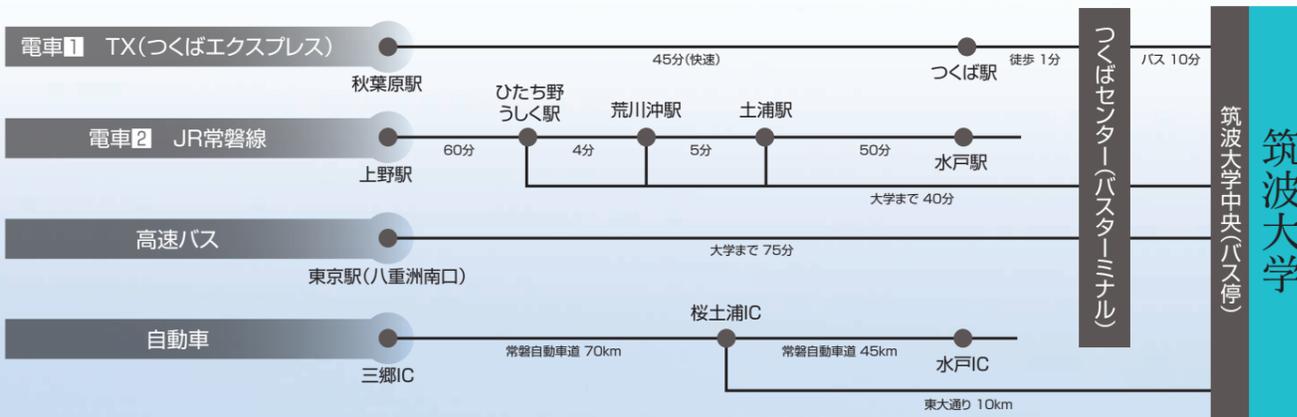
簡単なお問い合わせにはメールでお答えします。

ただ、答えられない質問もありますのでその点をご了承の上、お問い合わせください。

●心理学類に関する質問……<http://www.human.tsukuba.ac.jp/psyche/college/>

●障害科学類に関する質問……<http://www.human.tsukuba.ac.jp/ids/shougai>

## 筑波大学(人間学群教育学類)までの交通案内



## 周辺案内

